

わが友に贈る
 本物の決意は、
 本物の行動を生む。
 さあ勇気の一歩を
 勢いよく踏み出そう！
 挑戦の歴史を堂々と！
 2023年1月6日

SEIKYU SHIMBUN
 聖教新聞社
 電子版あり

環境をつくる技術は、
 未来をつくる技術。
気
 大気社
 www.takuboku.co.jp
 発行所 聖教新聞社
 〒160-8070 東京都新宿区信濃町7 TEL.03-3353-6111

聖教新聞
 SEIKYU SHIMBUN

2023年 (令和5年)
 1月6日
 金曜日

きょうのトピックス

- 3 世界広布の源流 青年に語る創価の魂
- 4 大阪の戦い
- 【方面・県版】
- 5
- 連載 私が入会を決めた時
- 6 聖教ブックストアのご案内
- 12 My Drama マイドラマ 世界の友の体験談

「人間とは」「生きるとは」自身を見つめて問い直す

本紙では2020年4月から、コロナ禍等の人類の課題に立ち向かう視点を提供する企画「危機の時代を生きる」を連載してきた。それをさらに深めるとともに、本年からは、「危機の時代を生きる 希望の哲学」と題して、現代社会に希望を送る思想・宗教の価値を見つめていきたい。池田大作先生と対談したアメリカ実践哲学協会会長のルー・マリノフ博士に聞いた。(聞き手=萩本秀樹)



アメリカ実践哲学協会会長
 ルー・マリノフ 博士

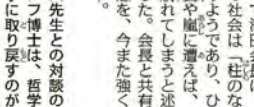
インタビュー
 新しい一年が幕を開きました。長引くコロナ禍や気候変動、ウクライナ危機をはじめ、複雑かつ多様な問題を抱える世界を、どう見つめていきますか。

行き詰まりの因
 皆さんに新年のごあいさつを申し上げます。危機が複雑化する中、特に多くの人が孤独に苦しんできたことに胸を痛めています。そして言うまでもなく、ウクライナでの戦争は悲惨な出来事であり、さまざまな緊張を引き起こしています。その最も大きな犠牲者であるのは、名もなき庶民です。日本でも、アメリカでも、政治の安定と経済の繁栄を支える庶民が守られなければならない。今の状況を改善する最善の道を見いだせるよう、強く願っています。

一方、パンデミック(世界的大流行)は、大乗仏教の大切な教えを思い出させてくれました。それは、あらゆる物が関係性の中で生じると地上(娑婆)の思想です。地球上どこか一方所で感染が起これば、それは瞬く間に広がることを

私たちは自覚しました。パンデミック自体は望ましいことではありませんが、これは同時に、地球上どこか一方所而起るホジティブな変化は、瞬く間に世界の隅々に影響を与えられることを意味しています。2023年の開演に当たり、私たちは、希望は常に目の前にあること、そして

危機の時代を生きる 希望の哲学



決して希望を手放してはならないことを、心に閉じたいと思います。池田(SSI)創価学会会長は約20年前、対談を始めるに当たり、現代社会の行き詰まりの原因は、「哲学の不在」にあるとの危機感を共有しました。今、危機感から、不在の度合いはさらに大きなものとなっている

といえます。その結果、デジタル革命の高まりとともに、人々は物事の真偽を見分けられなくなっています。大量の情報がアクセスできていくことは、真実にたどり着いていくことを意味しませんが、アメリカでは、政治的なメディアの操作が分断を生み、世論を惑わすのです。

池田先生と対談の中でマリノフ博士は、哲学を民衆の手に取り戻すのが課題であるとお話されています。「取り戻す」という表現に、哲学とは本来、民衆の手中にあったのではないかというメッセージを感じます。

対談の中で池田会長は、哲学不在の社会は「柱のない建物」のように、ひとたび地震や嵐に遭えば、はたらく崩れてしまうと述べられました。会長と共有した危機感を、今また強くしています。

しかし、20世紀の科学の大発展を受け、人々は「人間の心をやめたい」という学問やテクノロジーが、答えを与えてくれると考えるからです。巨額のお金がSTEM(科学、技術、工学、数学)の発展に費やされていく。これは出だされていく。これは出だされていく。これは出だされていく。これは出だされていく。

「人間とは何か」「いかに生きるか」といった根源的な問いに答えるために、哲学が今こそ復讐しなくてはならないのです。

御書と未来へ

池田先生が贈る指針

「通解 仏」というのも、私たちの心の中にいらつしゃるのです。たとえば、火打ち石がら火を取り、臍石を磨けば宝珠が現れるようなものです。

広布と人生の歓喜舞を

新たな一年、わが心より幸福を広げよ、との励みである。石から火を打ち出し、宝珠を磨くように、自他の仏性を発揮できるのが、仏道修行であり、学会活動である。題目は「生命の勝ち間」。日々「初日の出」の息吹で広布と人生の歓喜舞をノ、「さいわいを万里の外よりあつむ」壮大な一念三千の勝利劇をノ

沖繩が桜満開月間

平和の心を地域・社会へ

日本一早い春を告げるように、沖繩では、全国に先駆けて桜がほころび始めた。「沖繩開花月間」の祝賀が、あす7日に始まり(3月25日まで)。

さらに今年は、池田先生が出席した、2月の沖繩平和文化祭が40周年。長崎「永徳」の発表、35周年、幾度も意義深い佳節を刻む。月間では、2・8「沖繩の日」記念の懇談会や3月にブロック総会などを開催。小説「新・人間革命」を学び、折伏・人材拡大を進める。

創価青年部長、女性部長、安田 総経理

「自他・彼此の心なく 御書」

本紙好評連載の書籍化! ワン御書
ONE GOSHO
 この一節とともに!
 定価880円(税別)
 電子版あり
 日蓮大聖人の御書の要文30編を収録。
 男子部大卒生と新卒生との対話に答えるQ&A! 大卒生とナオツクTALKも掲載。

随筆「人間革命」光あれ
 池田大作
 聖教新聞社

随筆「人間革命」光あれ
 池田大作
 聖教新聞社

希望の哲学

草の根の始まり

「そうかと思えば、博士はアメリカ実践哲学協会を設立し、「哲学カウンセリング」という分野を開拓されたのです。」

「はい。しかしそれは、哲学者の側からではなく、市民の要請から始まった。「草の根」の活動でした。ある時、勤務していた研究所で電話が鳴りました。電話口で「哲学カウンセリング」と言っています。その話を聞いて私は、哲学者の助けを求めているのは、多くの人と同じではないか、と思いました。そして、すぐにカナダ、アメリカ、ヨーロッパなどにいた哲学者たちと連絡を取り始めました。約30年前の一本の電話が、私たちの活動の始まりとなったのです。」

「内なる哲学者」

「哲学カウンセリングの必要性は、さらに高まっている」と想像します。

「間違いありません。多くの若い研究者たちが、理論としての哲学ではなく、「実



Lou Marinoff 1951年、カナダ生まれ。ダウソン大学卒業後、ロンドン大学で哲学の博士号を取得。ニューヨーク市立大学で哲学部長を務めた。古今東西の哲学を日常生活の問題に応用する「哲学カウンセリング」の開拓者として、88年にアメリカ実践哲学協会を設立。セミナーやカウンセリング、執筆などを精力的に展開する。池田先生と2003年7月に会見。その後も語り合いを重ね、『哲学ルネサンスの対話』を刊行した。

践としての哲学」を、生涯のキャリアとすべく準備を進めています。ヨーロッパやアジア、中南米など、各国に実践哲学に関する機関が設立されています。」

「哲学に何が出来るのか。その問いへの的確な答えは、「人生を見つめ直し、その目的や意味を見いだすためのスペースをつくる」ということではないか。」

「一例として、私がカウンセリングを行った女性の話を紹介します。彼女は仕事で成功を収めていたにもかかわらず、どこか幸せそうではありませんでした。彼女は、もしかしたら自分は医師になりたいのかもしれないと、休日を返上して勉強に励み、医大に入る資格を得ました。入学するかどうか決断するに、2、3週間が経ちましたが、選択が与えられましたが、選択は彼女がジュレマ(松坂み)に直面してしましました。今の仕事を続ければ、生活は安定するが幸せでは



「出されたとき、その人は、自分の進むべき正しい道を知るから。」

「しかし、私は、可能性を引き出すエンパワメント(内発的な能力の開花)が大切なことです。」

「特効薬」はない

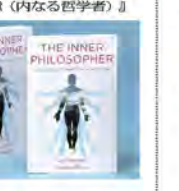
「博士は、仏教を「実践する哲学」と呼んで評価

互いが互いの「鏡」となって「自他共の幸福」築く実践を

「そして3点目に、リーダーのあり方についてです。世間には多くのリーダーシップのモデルがありますが、そのほとんどで、リーダーはピラミッドの頂点に立ち、下層部の人々を高めへと導こうとします。しかし、池田先生の姿が示すのは、ピラミッドを逆さにし、自分自身がその最底辺に身を置き、全ての重みに耐えながら、人々を持ち上げようとするリーダーのあり方です。この学びによって私自身も、歯の上に乗ってではなく、歯を助かし、歯を支え、歯の力となること、実践哲学協会を発展させていこうと思えるようになりました。」

「誰に對して、自分と対等な立場の人だと認められるかどうか。私の場合、カウンセリングに訪れる人を尊敬するところから始まりました。また、法華経に説かれる不輕菩薩の実践そのものではないか。」

「自分自身も、歯の上に乗ってではなく、歯を助かし、歯を支え、歯の力となること、実践哲学協会を発展させていこうと思えるようになりました。」



「創価学会は、偉大なコミユニティーを築いてきました。アメリカを見れば、まさに南北戦争(1861-65年)の時代のような分断が広がる現代社会にあって、学会の中には、調和の心が輝いています。調和の心が輝いていけば、調和の心でカナダ、イギリスなどでも会員の方々と交流する機会に恵まれましたが、どの都市でも、それは一瞬限られたものでした。」

「一般的に、西洋人には理解しがたい行動です。幸福とは「個人の幸福」を指すことが多いからです。しかしSGIの皆さんは、「人の幸福を増やすこと」で自分の幸福も増やすと捉えています。私もそれに完璧に同意します。だから私も、周囲の人々に言うのです。「仕事場や、家庭での人の幸せのために行動してみよう」と。それを実践した人たちが、以前よりもさらに幸福に見えたこと物質的に満たされること

「互いが互いの「鏡」となって、支え合い、日々の活動に励む。学会員は、その実践に次ぐ実践で、より良い自己を築こうと挑戦

「環境ではなく心」となると、支え合い、日々の活動に励む。学会員は、その実践に次ぐ実践で、より良い自己を築こうと挑戦

「互いが互いの「鏡」となって、支え合い、日々の活動に励む。学会員は、その実践に次ぐ実践で、より良い自己を築こうと挑戦

「互いが互いの「鏡」となって、支え合い、日々の活動に励む。学会員は、その実践に次ぐ実践で、より良い自己を築こうと挑戦

「互いが互いの「鏡」となって、支え合い、日々の活動に励む。学会員は、その実践に次ぐ実践で、より良い自己を築こうと挑戦

20歳のときに

What I Wish I Knew When I was 20

知っておきたかったこと

スタンフォード大学 集中講義

Tina Seelig ティナ・シーリーグ [著] 高遠裕子 [訳] / 三ツ松新 [解説]

いま、手元に5ドルあります。2時間でできるだけ増やせと言われたら、みなさんはどうしますか？これは、わたしがスタンフォード大学で実際に学生に出した課題です。よくあるのは、5ドルで道具や材料を揃えて「洗車サービスをする」といった答えです。わたしが教えた学生のはほとんどは、こうしたありきたりな答えのはるかに上を行く方法を見つけました。できるだけ多くの価値を生み出すために、課題に真剣に向き合い、常識を疑った結果意がな可能性に気づいたのです。では一体、彼らは何をしたのでしょうか。(本文より)

本書は、著者が自分の息子ジョジュのために、著者自身が彼の年齢のときに知っておきたかったことをまとめたメモが元になっています。できあがった本は、20歳を迎える息子への最高の誕生日プレゼントとなりました。単なるビジネス書、自己啓発書を越えて、未来を生きる若者たちへの深い愛情に満ちた名著と言われています。

定価 本体1650円(本体1500円) / ISBN978-4-484-20107-8

「世界はチャンスと可能性に満ちている」

——著者 ティナ・シーリーグ

待望の大幅増補版! 好評発売中!

世代を超えて支持される、永遠のベストセラー。20歳を迎える若者たちにこそ、是非とも読んでもらいたい1冊です。

累計 **40万部** 突破!

この本の知識は、武器にも自分を守る薬にもなる。僕も20歳の頃に読みたかった。

佐久間亘行氏 推薦!

テレビプロデューサー

失敗が怖くて何も挑戦出来なかった20歳の自分に読ませたい!

累計40万部のベストセラー!

CCCメディアハウス 〒141-8205 東京都品川区上大崎3-1 ☎03-6436-9721 books.cccmh.co.jp @cccmh_books | cccmh.books